

学校図書館の活用と読書活動の推進の取組

三重県 津市立神戸小学校

基本データ

所在地	津市神戸332-1
児童生徒数	219人
教職員数	26人
蔵書数	9,403冊
年間貸出冊数	8,035冊

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】読書啓発・指導

【活動のねらい】

- 当該校の学校図書館は、「利用しやすい図書館づくりを推し進める」、「読書指導や利用指導を系統的に進め、読書に親しむ子を育て、生きてはたらく幅広い読書力を育てる」ことを目的としている。

取組・活動の概要

(1) 読書活動の推進

①ピブリオバトル（11月、全校児童対象）

- 「児童が本に親しみ、読書の機会を増やす」、「工夫して話す、話を整理しながら聞く、本について質問するなどのコミュニケーション力を養う」、「本を通じて互いのことをより分かり合う」ことをねらって平成27年度から実施。それぞれのクラスで予選を行い1冊ずつチャンプ本を決め、1・2学年、3・4学年、5・6学年で本戦を行う。
- 最終的に各学年で選ばれたチャンプ本は、全校集会で紹介され、全校児童の前で発表する。

②おはなし会（月1～2回、全校児童対象）

- 学校図書館司書、学校図書館ボランティアが中心となり、金曜日の業間の休憩時間を利用して実施される。おはなし会の実施前には、図書館の前と児童玄関に手描きの楽しい看板が掲示され、児童の期待や関心を高めている。
- おはなし会が終わり、教室に戻る際には学校図書館ボランティアが作った、その日の話の内容にちなんだ手作りのプレゼントもあり、毎回多くの児童が参加している。

③図書館まつり

（第1回…6月、第2回…2月、全校児童対象）

- 図書委員会が中心となって企画、運営を行う。図書館クイズ、先生のおすすめ本の紹介、読書感想文入選作品の展示、スペシャルおはなし会、手作りのしおりやブックカバーづくり等、児童が図書館や読書活動に対する関心を高めるさまざまなイベントが行われている。



図書館まつり 低学年…図書館クイズ

④図書館だよりの発行

（通年、全校児童・保護者対象）

- おすすめの本の紹介や、図書館の利用の様子、イベントの案内等を掲載し、児童や保護者の読書活動の啓発を図っている。

(2) 児童の学習と読書活動を関連付けた取組

①学校図書館司書によるオリエンテーションの実施（4～5月、全校児童対象）

- 国語科の学習に関連させて、低学年は本の探し方、本の借り方、返し方等図書館の利用の仕方を具体的に学び、高学年は、本を探しながら与えられた条件や問題を達成するゲーム性のある取組を行い、楽しみながら本の分類に触れる機会としている。

②学習活動における図書館活用計画に沿った各教科や活動における図書館の活用

（通年、各学年で実施）

- 各学年が年度当初に立てた計画に沿って、各教科等における調べ学習や発展学習に図書館の資料を活用している。

- ③ブックコンテナ（通年、全校児童対象）
 - 図書委員が、委員会活動の一環で実施している。各クラス用に30冊の本を借り、1ヶ月間各クラスで保管する。その際、学習内容に関連する本も選んでいる。
- ④学級文庫の充実（通年、各学年・学級で実施）
 - 公共図書館と連携した団体貸出しや、各学校間の相互貸借を利用する等、学校図書館司書と学級担任が連携し、学習に必要な本等を準備している。

（3）保護者や地域との連携

- ①家読（うちどく）
（11月、全校児童・保護者対象）
 - 保護者に協力を呼びかけ、家族で読書に取り組む週間を設定している。
 - 取組内容は7種類あり、その中から1つを自由に選択して取り組む。
 - 取り組んだらチャレンジカードに記入し、学校に提出すると、図書館前の廊下の掲示板に掲示される。
- ②NO テレビ・NO ゲームチャレンジ
（通年、全校児童・保護者対象）
 - 毎月5の付く日（5日、15日、25日）に実施。
 - 保護者に協力を呼びかけ、テレビやゲームの代わりに、自主学習や読書、家族との会話の時間などを推奨している。
 - 「NO テレビ」「NO ゲーム」「家庭学習」それぞれにチャレンジするコースが示されていて、自分で選択できるようになっている。
- ③図書館ボランティアによるストーリーテリング
（通年、各学級対象）
 - 図書館ボランティアの一人が、朝の学習の時間を利用して、1年生から6年生までの学級を回り、語り手が話を覚え、本を使わずに聞き手に伝えるストーリーテリングを実施している。

取組・活動の工夫や特徴

- 学校図書館の活用と読書活動の推進に向けて、教員、図書館担当、学校図書館司書、学校図書館ボランティアが、組織的かつ継続的に取り組

みを進めている。

- また、教員、学校図書館司書、学校図書館ボランティアが図書館に係る研修会に参加し、学校図書館で活用できるイベント、魅力的な読み聞かせの方法等、図書館活動の充実に向け研鑽している。

取組・活動の成果や今後の展望

- ビブリオバトルを実施したことで、チャンプ本以外にも、紹介されたさまざまな本に興味を持ち、図書室で本を借りる児童が増えた。
- 平成29年度の児童一人当たりの貸出し冊数は、約62.5冊で、津市の平均約44.7冊を上回っている。
- おはなし会や図書館まつり等、児童が図書館に関心をもつ企画を年間を通じて計画的に実施することで、図書館に来館する機会が増えている。
- 平成29年度の全国学力・学習状況調査の児童質問紙の「図書館にどれくらい行きますか」の質問に対し、「週に1回以上行く」の回答が、全国と比べて16.0ポイント上回った。
- 今後は、日常的に図書館に来館できるよう、継続的なイベントの実施等、イベントの内容の工夫をする。
- 学校経営に読書活動を取り入れることで、教職員全体の意識が向上し、組織的に読書活動を推進する体制が整えられている。